

## RUA-TBP1803SHNV-A/D

### 高効率仕様4台連結

(注1) 能力、電気特性および標準流量は、下記条件時の値です。  
(電源設計は基準電圧を元に行ってください。定格電気特性は使用しないでください。)

冷却：冷水入口 14℃/出口 7℃、外気 35℃DB、24℃WB、散水温度 21℃  
加熱：温水入口 38℃/出口 45℃、外気 7℃DB、6℃WB

(注2) 電気特性にはポンプ分を含んでいません。「別表/内蔵ポンプ特性」に示す値を参考にしてください。内蔵ポンプの運転電流・消費電力値は、運転流量および機外揚程などの条件により変化します。

(注3) 外形寸法には、ポンプ、水配管接続部などの突出分は含まれていません。

(注4) 電源電圧は変動があった場合でも、±10%を超えないようにし、電源電圧間の不平衡は2%以内としてください。

(注5) 給水の水质により、コイル表面にスケールが付着する場合があります。必要に応じ、給水側に軟水器を取付けるなどの対策を行ってください。  
(現地手配)

(注6) 散水装置入口にある流量調整用手動バルブにより、この給水圧になるように流量調整してください。十分な給水圧が得られない場合は、加圧ポンプを取付けてください。(現地手配)

(注7) 内蔵ポンプは、インデント対応により必要とされる機外揚程に応じて出力を変更することができます。その際の電源設計は、標準ポンプの場合とは異なります。上表(電源設計)で該当の欄を参照してください。

(注8) 水回路常用圧力：0.7MPa以下

(注9) 流量は内蔵ポンプにより流量範囲内で自動的に変動します。流量範囲は、モジュール1台分の最低流量から最大流量です。

(注10) 保有水量の計算は、バイパス経路等も考慮した配管路で最も水量が少なくなる部分で計算してください。  
表中の保有水量は、水出入口設計温度差7℃の場合の値です。

(注11) 始動後1時間は通常の使用範囲より高い冷水出口温度(冷却時、上限30℃)または低い温水温度(加熱時、下限25℃)で運転可能ですが、それ以降は使用範囲内となるよう、必要に応じて冷温水回路のバイパス等により対応してください。

(注12) 加熱時、外気0℃未満では温水出口温度に制限があります。

(注13) 水质基準項目および基準値については、日本冷凍空調工業会“冷凍空調機器用水質ガイドライン”(JRA-GL-02-1994)を満足してください。

(注14) 騒音値は反射音の少ない場所で測定したものです。実際の据付状態では周囲の騒音や反射の影響を受け、表示値より大きくなります。

(注15) 電源配線キットを使用する場合のターミナルボックス箇所数の見方は以下になります。